

特公・昭41-19170 (公告・昭41-11-7) 出願: 昭39-11-5, 発明出願: 元木幹雄

鋼の球状化焼鈍のための予備処理法

特公・昭41-19283 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭39-11-21, 発明: 浅田千秋, 出願: 大同製鋼(株)

圧延スタンド

特公・昭41-19288 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-4-23, 優先権: 1964-4-23(ドイツ) V25869, 発明: カール・ノイマン, 出願: フェルヴァルツングスゲゼルシャフト・メラエ・ウント・ノイマンオフエネ・ハンデルスゲゼルシャフト

熱間連続圧延ストリップの冷却装置

特公・昭41-19291 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭38-10-3, 発明: 谷幸男, 野間吉之介, 出願: 日本鋼管(株)

圧延機

特公・昭41-19326 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-6-1, 優先権: 1964-6-4(イギリス) 23286/64, 発明: ジェレミア・ワグナー・オブライエン, 出願: ユナイテッド・エンジニアリング・アンド・ファンドリー・コムパニー

圧延機

特公・昭41-19327 (公告・昭41-11-9) 出願: 昭40-

7-15, 優先権: 1965-5-18(アメリカ) 456745, 発明: ケネス・ラルフ・コンフォア, デビッド・ヒュー・サムソン, 出願: ドミニオン・ファンドリース・アンド・スチール・リミテッド

電解加工方法

特公・昭41-19881 (公告・昭41-11-18) 出願: 昭38-2-5, 発明: 井上潔, 出願: ジャパックス(株)

電解加工法

特公・昭41-20203 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-1-29, 発明: 川船和儀, 出願: (株)日立製作所

電解加工法

特公・昭41-20204 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-1-29, 発明: 川船和儀, 出願: (株)日立製作所

電解加工装置

特公・昭41-20205 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-3-11, 発明: 御子柴佑恭, 鈴木靖夫, 石沢進午, 出願: (株)日立製作所

電解加工法および装置

特公・昭41-20206 (公告・昭41-11-25) 出願: 昭39-4-9, 発明: 堀栄一, 御子柴佑恭, 石沢進午, 鈴木靖夫, 出願: (株)日立製作所

書 評

De Ferri Metallographia II

著者 Angelica SCHRADER and Adolf ROSE

“De Ferri Metallographia I”における金属組織学の基礎にひきつづき工業的に重要な鉄鋼の顕微鏡組織写真を約1300枚集めて整理し、独、英および仏語で解説したものである。第1章では鋼種およびその組織の選択を、第2章では研磨およびエッチング法、電子顕微鏡観察のためのレプリカ法について概説している。第3章ではフェライト、パーライトおよびセメンタイトの量比におよぼすC含量の影響、組織要素の外観、組織への変態条件の影響、中間段階の組織(ベイナイト)、マルテンサイトの焼戻し過程中的組織変化、一般構造用鋼および快削鋼について解説している。さらに第4章では合金鋼の連続冷却、等温変態、焼入れ、焼戻し調質後の組織および高温で長時間応力をかけた後の組織変化、ならびに鋼中のSi, Mn, Mo, Cr, NiあるいはWなど合金元素が組織に与える特有の影響を述べている。そして第3章および第4章のそれぞれに対応した代表的組織写真がその概説とともに集録されており、その約1/3は電子顕微鏡写真である。なお鑄造組織および加工組織は“De Ferri Metallographia III”に掲載してある。

金属組織学の発達が鉄鋼自体の発達にくらべて不完全なために、本書は鉄鋼組織についての最終的評価を与えるものではないが、光学顕微鏡から電子顕微鏡一回折への急速な進歩がすでに開始されている現在、前進する前に今の位置を評価することが必要である。以上要するに本書は研究者にとつても、また鉄鋼メーカーや使用者にとつても有益な助けとなるであろう。

(中山忠行)

(A4判, 560ページ, 出版社: Verlag Stalisen m.b.H., Düsseldorf, 1966)